

2018年6月10日(日)

バードウォッチング入門③

～ヨシ原のオオヨシキリ～

初夏のヨシ原では、夏鳥のオオヨシキリがよく見られます。元気にさえずる様子をじっくりと観察しながら、オオヨシキリの生態や縄張りについて確認しました。



最初にレクチャールームで資料説明。オオヨシキリの生態や子育てについて紹介しました。



観察ホールに展示してあるオオヨシキリの古巣を確認。ヨシ原内での子育ての様子がよくわかりました。



野外観察ではヨシ原 1 周コースを歩きました。中央園路からは、ヨシの茎や周辺の樹林にとまってさえずる様子がよく観察できました。



さえずるオオヨシキリの様子。口の中が赤いのが特徴です。独特なさえずりをたよりに姿を探しました。



干潟にもヨシが茂っている場所があり、その周辺でもオオヨシキリがさえずっていました。



ヨシ原池の北側から観察。池の縁にもヨシが茂っていて、鳴き声が間近から聞こえてきました。



ヨシ原の西側は今年ヨシ焼きを実施していない場所で、枯草が多く、鳴き声は聞こえても姿は目立ちませんでした。



複数のオオヨシキリが追いかけ合う様子も見ることができました。縄張り争いでしょうか？



オオヨシキリ以外にも公園のマスコットバードのセイタカシギ、淡水池で営巣中のカイツブリも観察することができました。



地図でオオヨシキリがさえずっていた場所をおさらい。18ヶ所でさえずりを確認できました。

オオヨシキリの生息環境となるヨシ原は埋め立てなどで減少しています。多くのオオヨシキリが飛来する園内のヨシ原は貴重な環境といえます。